



# 碧南ロータリークラブ週報

第2477回例会 平成21年11月4日(水)

● 会長 鈴木 並生 ● 幹事 棚田 道和 ● 会場監督 (SAA) 新美 真司

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)

■ 会報委員 岡本明弘・新美雅浩・大澤明敬・西脇博正



## ● 斉 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## ● 本日のお客様

地区ロータリー財団委員会 補助金委員会 委員長 松尾憲二郎氏



鈴木並生会長

## 会 長 挨拶

11月はロータリー財団月間です。財団の事については後ほど卓話で松尾様にお話して頂きますが、私はGSEの事について少しお話させていただきます。

皆様方も御承知のGSE、研究グループ交換という、ロータリーの事業がありますが、実は明後日、11月6日(金)の午後にRI5580地区より5名のGSEグループのメンバーが碧南を訪問されます。せっかくの機会ですので、本日はGSEのことについて、もう少し詳しくお話させていただきます。

GSEはGroup(グループ)Study(研究)Exchange(交換)研究グループ交換はロータリー財団の各種プログラムの中の1つのプログラムです。手続き要覧によると、ロータリー財団には、大きく別けて3つのプログラムがあります。

1つ目は、教育的プログラム。

2つ目は、人道的補助金プログラム。

3つ目は、ポリオプラスです。

本日松尾様にして頂く卓話の新地区補助金は人道的補助金プログラムの中の一つです。GSEは教育的プログラムの中の一つです、このプログラムは、事業やその専門職務経験の浅い25歳~40歳の男女に、文化と職業に関する、またとない交流の機会を提供する。そして男女専門職従事者からなるロータリアン以外のチームメンバーに異なる国のロータリー地区へ4週間から6週間の交換旅行をする為の旅費を補助するものである。ロータリアンのチームリーダーが引率することになっているそうです。目的等の詳しい説明は時間の都合で省略しますが、興味のある方は手続き要覧の第15章ロータリー財団のプログラムの項を見てください。

今からは第5580地区のことと、滞在中のスケジュールについてお話します。第5580地区は、カナダのオンタリオ州と、アメリカ合衆国のミネソタ州、ウイスコンシン州、ノースダコダ州がテリトリーだそうです。カナダとアメリカが一つの地区と云うのも驚きました。今回訪問されるメ

ンバーは全員アメリカ人です、男性1人、女性4人です、職業は教育者、役人、一般の会社勤めの方等でいろいろです。

滞在中のスケジュールは、

11月1日に名古屋に到着し、

3日～6日 西三河分区滞在

7日、8日 地区大会出席

9日～13日 東名古屋分区

16日～19日 南尾張分区

24日～27日 東尾張分区

各分区滞在中は全部ホームステイです。土、日は7、8日の豊橋以外は、名古屋のホテルに滞在し全部フリーだそうです。そして11月29日に中部国際空港から帰国されます。碧南には西三河分区滞在中の最後の日、6日の午後來ます。見学先はメンバーの大塚様におねがいし、中部電力碧南火力発電所の見学を予定しました。当日は財団の委員長の岡田さんと、棚田幹事さんと、アメリカ滞在中経験のある坂本さんと、市の国際親善協会にみえた堀田さんに、対応して頂きます、宜しくお願いします。

以上が滞在中のスケジュールですが、グループ交換ですので、2760地区からは2010年4月10日～5月16日迄4人のメンバーとロータリアンが5580地区を訪問する予定です。又いづれ地区より報告があるかと思えます。

以上で挨拶を終わります、ありがとうございました。

## 幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は別紙幹事報告の通りです。
- ・11月8日（日）地区大会参加でバスを利用の方は、商工会議所を7時30分に出発しますので、時間厳守でご集合下さい。また反省会を当日18時より小伴天さんで行いますので宜しくお願いします。



棚田道和幹事

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数77名(内出席免除者16名の内出席者13名)出席者63名

出席対象者 63/73名 出席率 86.30%

欠席者14名(病欠者1名) 前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

### 〈ニコボックス委員会〉

地区ロータリー財団委員会 補助金委員会 委員長 松尾憲二郎様

ロータリー財団の卓話をさせていただきます。是非、新地区補助金の利用をお願いいたします。

加藤 良邦君 11月3日秋季大祭天候に恵まれお陰様にて、無事に終える事が出来ました。

岡田 起勇君 講師のご紹介をさせていただきます。

黒田 昌司君 碧南商工会議所60周年記念式典、無事終えることができました。皆様のご協力に感謝致します。

鈴木 昭洋君 2ヶ月休みました。無事（病院）出所してまいりました。

鶴田 光久君 皆様のご協力のおかげをもちまして、本年度最初の修正出席率3週間連続100%達成をいたしました。ありがとうございます。次回もよろしく願いいたします。

山中 寛紀君 ちょっと良いことがありました。

杉田 茂君 長男の結婚式がつつがなく出来ました。家族が増え良き日でした。

### 〈親睦活動委員会〉

#### 会員誕生日

19日 小林 克成君 20日 森田 英治君 20日 鈴木 輝彦君 22日 神谷 研君  
27日 奥田 雪雄君 29日 竹中 誠君

#### 奥様誕生日

3日 石川 春久君の奥様 美鈴様 17日 鈴木 輝彦君の奥様 智子様  
17日 菅原 優君の奥様 恵子様 18日 縦山 善久君の奥様 悠久子様  
20日 木村 徳雄君の奥様 小百合様 28日 角谷 修君の奥様 由美様

#### 結婚記念日

2日 森田 英治君・明美様 51年 2日 犬塚 敦統君・清子様 42年  
3日 岡島 淳一君・綾子様 47年 5日 縦山 善久君・悠久子様 48年  
5日 木村 克美君・由利子様 41年 6日 杉浦 求君・静子様 44年  
8日 新美 雅浩君・美由紀様 22年 12日 杉田 茂君・きよみ様 31年  
12日 角谷 修君・由美様 13年 24日 岡田 赳勇君・明美様 39年

#### 入会記念日

2日 中根 佑治君 4日 植松 敏樹君 4日 奥谷弘和君

## 卓 話

### 「ロータリー財団と新地区補助金について」

ロータリー財団委員会

補助金委員会委員長 **松尾憲二郎** (小牧 RC)

11月はロータリー財団月間です。碧南ロータリークラブの会員の皆様には、大変ご支援ご協力をいただき御礼感謝申し上げます。

2008-2009年度片山年度では「毎年あなたも100ドルを」の標語の元、皆様より財団年次寄付金で総額9,226.79ドル、一人当たり119.83ドルのご寄付をいただきありがとうございました。

ロータリー財団の活動には、大きく分けて2つの活動があります。財団活動のエネルギーとなる寄付金を集める委員会(年次寄付、恒久基金、ポリオプラスの委員会)とご寄付いただいた寄付金を活用する委員会(補助金、財団奨学金、GSE、財団学友、世界平和フェロシップの委員会)の8委員会から構成されております。各委員会の詳しい活動につきましては配布いたしましたA3版のロータリー財団委員会の解説資料に記載しております。

又、ポリオプラスでは片山年度よりゲイツ財団の1億ドルの寄付金にあわせ財団もポリオプラス1億ドルチャレンジがスタートしています。3年間で1億ドルの募金をすべく、2760地区ではすべての会員より毎年1000円のご寄付を集めることになりました。今年の大澤年度、次の田嶋年度と続きます。ご協力をよろしく願いいたします。尚、不足額は財団委員会の地区財団活動資金(DDF)の繰越金より補填し所定の金額をロータリー財団に送ります。

さらに、大澤年度に入りゲイツ財団より追加の1億ドルの寄付が表明され、ロータリー財団もこれに康応してポリオプラス2億ドルチャレンジを決めました。これも3年間に渡り寄付金を集めるものですが、大澤ガバナーの決定で会員からの寄付は募らず、地区資金とロータリー財団委員会の持っているDDFの繰越金より求められている寄付金額を納めることになりました。

いずれにしても、これまでの財団への年次寄付金、恒久基金への寄付金の一部が当てられ



ることです。今後とも年次寄付金、恒久基金、大口寄付等ロータリー財団を支えるご寄付にご協力をお願い申し上げます。

次に、ロータリー財団への寄付金の行方について説明させていただきます。3年前に寄付していただいた年次寄付金と恒久基金の運用利息をWF（国際財団活動資金）とDDF（地区財団活動資金）に50%ずつに分割されます。それぞれが人道的プログラム、教育的プログラムに使用されます。別紙「ロータリー財団への寄付金の行方」、「年次プログラム基金」を参照してください。

2009-2010年度大澤年度までは、DDFで地区補助金、国際親善奨学金、GSE、ポリオプラス、世界平和フェロシップを行ってきました。特に各クラブにとって利用価値の高い地区補助金は、DDFの20%の金額枠で各クラブより申請のあった人道的プログラムを補助金委員会で審議して最大1/2まで補助金を支給してきました。大澤年度は約510万円で16クラブに利用していただきます。別紙「地区補助金申請プロジェクト一覧」を参照してください。

しかし、次年度2010-2011年度田嶋年度よりロータリー財団の寄付金の行方が大きく変わります。ロータリー財団未来の夢計画のパイロット地区に当2760地区が選ばれ、3年間のパイロット地区として新しい未来の夢計画に沿って変更された制度に寄付金の行方が変わります。別紙「ロータリー財団の寄付金の行方」を参照ください。

各クラブで関心の高いのは、地区補助金の行方だと思います。WF、DDFの分割割合は50%と変わりません。しかし、DDFの資金の行方が大きく変わります。DDFの最大50%までが新地区補助金に、DDFの最小50%までがグローバル補助金に分けられ、ともに人道的、教育的プログラムに利用されます。DDFの活用の点で従来より、地区の裁量が大きくなりました。

初年度の田嶋年度では、この新地区補助金が170,000ドル強となります。その割振りは後日決定されますが約100,000ドルが、地区各委員会の計画する職業奉仕・社会奉仕・WC S・奨学金・職業研修チーム等人道的、教育的プログラムに利用していただく方向で各地区委員会とつめています。残る70,000ドル程度が従来の地区補助金に近い利用目的で割付される予定です。新地区補助金の支給基準、申請方法等詳細は年内に決まる予定です。この新地区補助金の中に、従来の地区補助金、奨学金（6重点分野以外の奨学金）、職業研修チームが含まれます。ロータリー財団委員会は、この新地区補助金の枠である170,000ドルを全額使い切るよう各クラブ、地区の各委員会に人道的、教育的プログラムの申請をお願いしております。各クラブでは、こんな提案はどうかとどしどし補助金委員会、又ガバナー分室に問い合わせてください。

又、グローバル補助金はやはり170,000ドル強の資金枠のもと、DDFの資金と同額のWFの資金とを組合せて総額30,000~400,000ドルまでも長期、大型のプロジェクトに利用されます。但し、利用目的はRIが決めた重点6分野の事業にしか使えません。現在、当地区では次年度実施すべく地区委員会で3件の具体的なプログラムを検討しております。従来のマッチンググラントの大型のものと思えば遠からずです。

各クラブで計画され実施されている海外での人道的プログラムが、新地区補助金、あるいはグローバル補助金の支給対象プロジェクトなるものが多くあると思います。是非とも、お問い合わせください。

新地区補助金・グローバル補助金とも申請のタイムスケジュールは、初年度のこともあり時間の余裕は余りありません。

来年2010年2月中に各クラブ、各地区委員会よりプロジェクトの素案を提出していただきます。4月までの2ヶ月間で財団委員会・補助金委員会と各クラブ・地区委員会とのやり取りを行い、申請にたるプロジェクト案にして審議会にて承認の上それぞれの申請案件を取りまとめ、一括して新地区補助金そしてグローバル補助金としてロータリー財団に申請を行う予定です。

それにより、田嶋年度のスタートの7月より各プロジェクトの実施が出来るようになります。

このタイムスケジュールは変更できません。特に、次年度の会長・幹事の皆さん・クラブ役員予定者の皆さんは、従来より、補助金予定のプログラムの申請が6ヶ月前倒しとなりますので次年度の活動も6ヶ月早まります。

この点を忘れないようお願いします。

ロータリー財団の卓話をお聞きいただきありがとうございました。

## 次回例会案内

平成21年11月18日（水）卓話「不況対応に関する調査報告」

名古屋中小企業投資育成㈱ 業務第六部 調査役代理 飯味 清氏